

製品名: BMAL1 ウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00495**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ELISA
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	50% グリセロール、0.5% 保護タンパク質、0.02% アジ化ナトリウムを含む PBS 液 (pH 7.3)。
精製	アフィニティー精製

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ELISA 1:5000-1:20000
分子量	Calculated MW: 69 kDa; Observed MW: 69 kDa

抗原情報

遺伝子名	ARNTL
別名	ARNTL; BHLHE5; BMAL1; MOP3; PASD3; Aryl hydrocarbon receptor nuclear translocator-like protein 1; Basic-helix-loop-helix-PAS protein MOP3; Brain and muscle ARNT-like 1Class E basic helix-loop-helix protein 5; bHLHe5; Member of PAS protein 3; PAS domain-containing protein 3; bHLH-PAS protein JAP3
遺伝子 ID	406
SwissProt ID	O00327
免疫原	抗血清は、Lys538 の非アセチル化部位周辺のヒト BMAL1 由来の合成ペプチドに対して作製された。アミノ酸範囲: 501-550

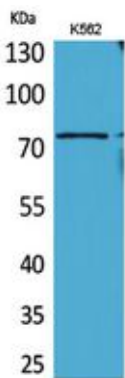
背景

細胞の概日リズム機構は、正と負の調節ループ、すなわち肢が絡み合って構成されています (1,2)。正の肢には、CLOCK タンパク質と BMAL1 タンパク質が含まれます。これらは、E ボックスエンハンサーエレメントに結合し、標的遺伝子の転写を活性化する、ヘリックス-ループ-ヘリックス-PAS 構造を持つ 2 つの基本的な転写因子です。

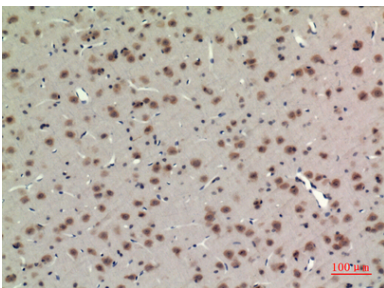
研究分野

心血管系

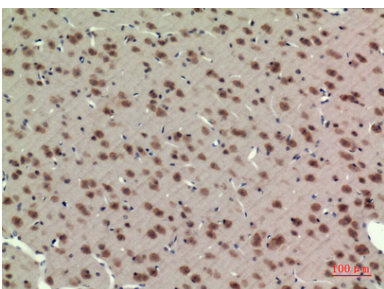
画像データ



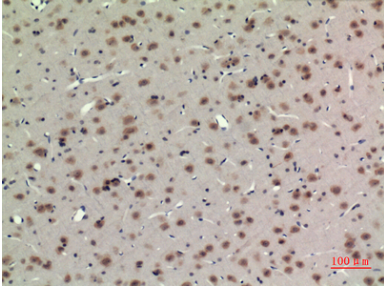
BMAL1 抗体を使用した K562 溶解物中の BMAL1 のウエスタン プロット分析。



BMAL1 抗体を使用したパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。



BMAL1 抗体を用いたパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には、高圧高温クエン酸ナトリウム (pH 6.0) を使用した。



BMAL1 抗体を使用したパラフィン包埋ラット脳の免疫組織化学分析。抗原賦活化には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。